



～鹿田山の麓に溶け込み 市民が集う 憩の空間～

みんなが  
どんなときでも  
リラックスできる  
温泉施設

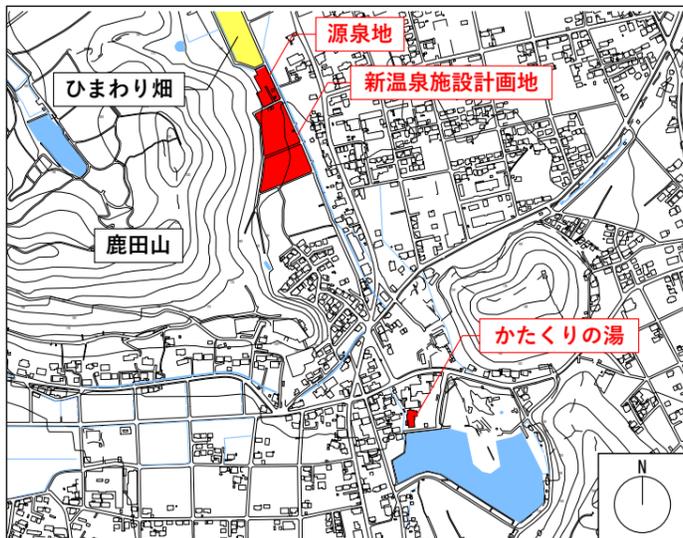
◇基本方針

- 1. だれもがゆったりと寛げる憩の場となる施設**
  - ゆったりとした広さの内風呂浴槽と露天風呂浴槽で温泉を楽しめます。
  - 温泉だけでなく、炭酸泉やサウナなど多様な種類のお風呂を計画します。
  - 家族風呂は、車いす使用者とその介護者が利用できるバリアフリーに配慮した計画とします。
  - 風呂上がりの多様な寛ぎ方に対応した大広間、個室、リラクゼーションルームなどを計画します。
- 2. 多世代の市民交流や賑わいの創出に寄与する施設**
  - 卓球やスポーツ吹矢、八木節の練習など、様々な市民活動の場として利用可能な多目的室を計画します。
  - フリーマーケットや青空市場などのイベントが開催できる十分な広さの多目的広場を計画します。
  - 鹿田山フットパス利用者も気軽に利用できる足湯を計画します。
- 3. みどり市の魅力を発信し、体感できる施設**
  - 地元林業を活かし、木造架構の採用と内装仕上の木質化を図り、木の温もりを感じられる施設とします。
  - 浴室湯沸熱源として薪ボイラーを補助ボイラーとして利用します。
  - 薪置場を外から見える設えとし、木材活用の啓蒙にも寄与します。
  - 物販コーナーでは「みどり市ブランド」の販売も想定し、みどり市ならではの魅力をアピールできます。

- 4. 災害時にも安心を提供できる施設**
  - 非常時の安全性を保ちながら、一定の機能が維持できるよう事業継続計画（BCP）を盛り込みます。
  - 発災後にも入浴サービスを提供できる防災機能を高めます。
  - 多目的広場1は、発災後の退避スペースとしても機能します。軒下空間をつくることで地域の炊き出しなどの拠点としても活用できます。

◇計画概要

計画地	みどり市笠懸町鹿2559番ほか
都市計画	都市計画区域内・市街化地域非設定・用途地域無指定
主要用途	公衆浴場
構造/規模	木造・鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造/地上1階
建築面積	2,114.24 m <sup>2</sup> (敷地内の建築物の合計) ・施設本体：2,105.24m <sup>2</sup>
法定延床面積	2,055.43 m <sup>2</sup> (敷地内の建築物の合計) ・施設本体：2,030.43 m <sup>2</sup> ・施設本体の屋内部分：1,887.70 m <sup>2</sup>
最高高さ	7.5m
駐車場	計129台(うち、一般100台・福祉6台・職員23台)
基礎	直接基礎
排水処理	公共下水道接続にて県と協議中



◇配置計画

- 鹿田山の麓にその稜線と調和する勾配屋根の連なるシルエットの建物を計画します。
- 計画建物は源泉スタンドに近い敷地の北側に配置し、温泉配管を短くすることができる合理的な計画とします。
- 源泉スタンドの設置物を整理し、北側ひまわり畑方向への視線の抜けを確保します。
- 多目的広場とひまわり畑、鹿田山フットパスと足湯との連携を考慮した配置とします。
- 計画建物、車寄せ、駐車場はだれもが使いやすいユニバーサルデザインに配慮した計画とします。



鳥瞰イメージ

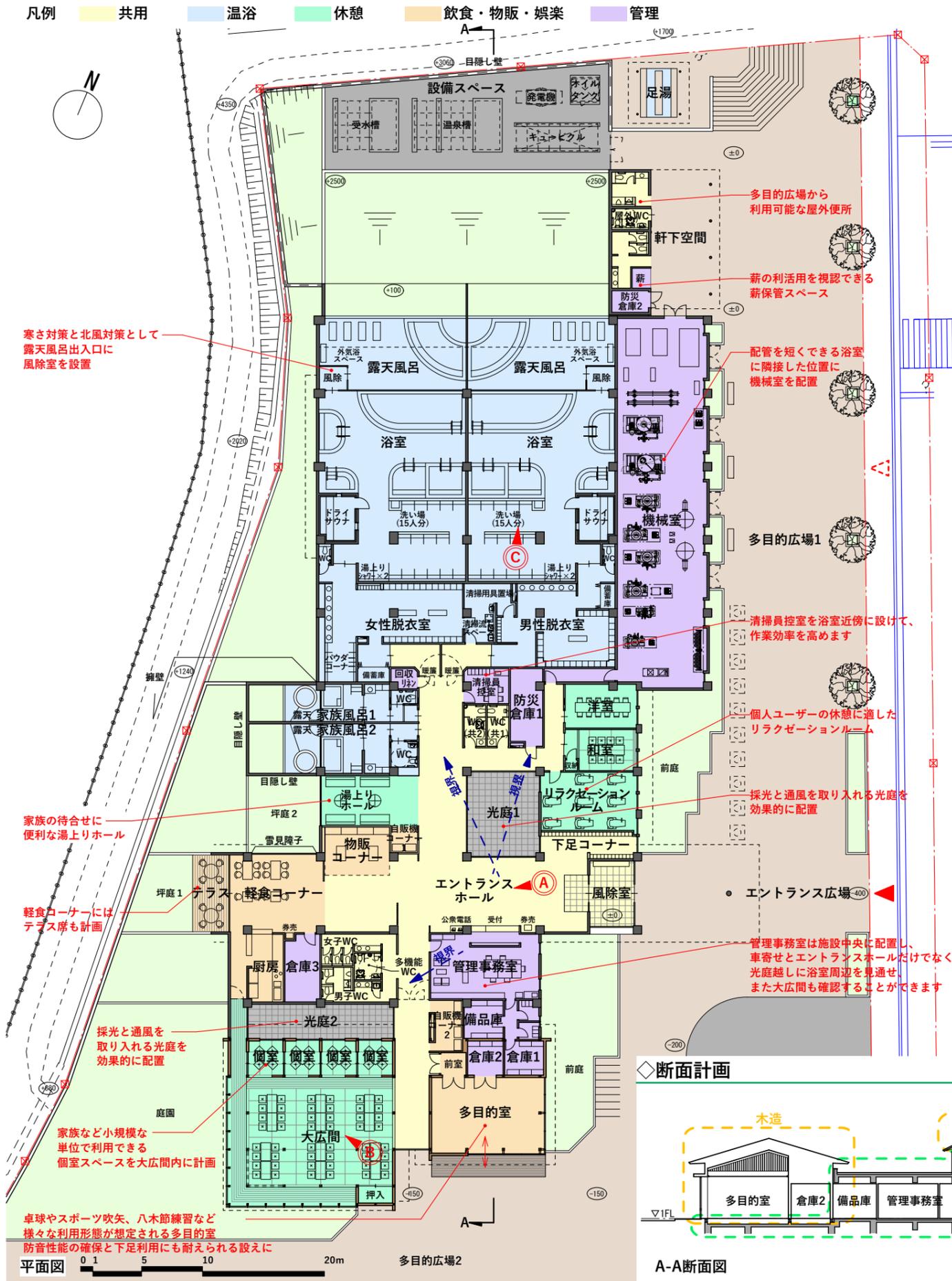


ひまわり畑



施設の概要や計画内容などは、今後の検討の中で変更が生じる場合があります。

◇平面計画



◇外装仕上イメージ



◇内装仕上イメージ



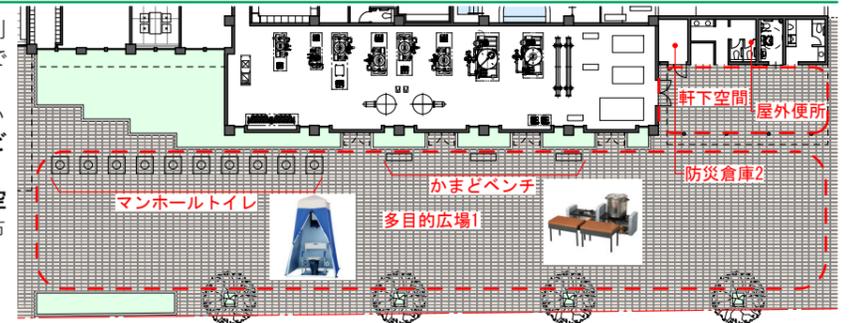
◇BCP (事業継続計画)

・災害時に温泉施設の利用者及び従業員の人命を守るとともに、避難所に準ずる施設(一時避難所)として、発災後に市民に温浴サービスを提供可能な施設とすることで、市内の災害対策の強化を図ります。

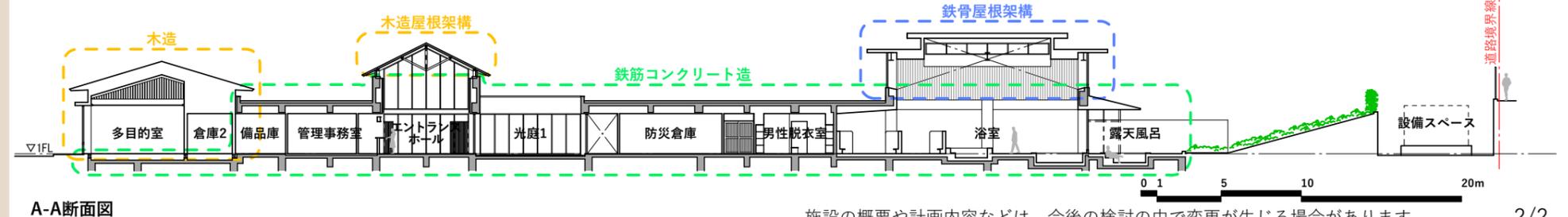
	インフラ停止から72時間以内		
	停電発生時	給水管破損時	排水管破損時
上水	発電機電源を使用して、受水槽加圧給水ポンプに電源供給し、上水使用可能	受水槽の貯水量分は、バケツ等で汲み取って上水使用可能	
下水			マンホールトイレを使用
電力	非常用発電機	発電機から必要機器へ72時間電源供給	
	太陽光発電	管理事務室内に設置した太陽光専用コンセントを使用可能	
温泉	温泉槽の貯湯量分は、温泉水を浴室浴槽にて利用可能	温泉槽の貯湯量分は、温泉水を浴室浴槽にて利用可能	

◇防災計画

- ・災害時の屋外避難や、緊急車両の活動空地としても利用可能なオープンスペースとして多目的広場を利用できます。
- ・多目的広場に、通常時はベンチとして、災害時には炊き出し等に「かまど」として使用可能なかまどベンチを整備します。
- ・多目的広場と連続する屋根に覆われた半屋外の軒下空間を整備し、発災後の炊き出しや災害用備蓄品の配布等の市民サービス提供にも役立つ計画とします。
- ・災害用備蓄品を収納する防災倉庫を整備します。



◇断面計画



施設の概要や計画内容などは、今後の検討の中で変更が生じる場合があります。